

**1. 授業のねらい・概要**

Java 言語によりプログラミングの基礎を学習し、簡単な Java プログラムが作成できるようになることがねらいである。

- (1) Java 言語のプログラム作成環境および作成過程<ソースプログラムの作成, コンパイル, 連携編集, 実行>を、実習を通して習得する。
- (2) プログラムで使う変数の意味や定義の表現方法, プログラミングに必要な基礎的なアルゴリズムについて学習する。
- (3) 構造化定理<順次処理・分岐処理・繰り返し処理>を使って, プログラムの流れである基礎的なロジックを組み込んだプログラムが作成できるようになる。

**2. 授業の進め方**

テキストの演習問題に基づいてプログラムを作成する。講義と実習中心の授業形式で進める。

**3. 授業計画**

1. Java によるプログラム作成	9. 制御構文演習(1) if else 文
2. データと変数	10. 制御構文：if 文(2) 論理演算子
3. データ入出力と演算：プログラムの構成	11. 制御構文演習(2) if 文、and、or
4. データの入出力処理／例外処理	12. switch 文
5. データ処理と演算子	13. for 文
6. データ処理と演算子演習	14. for 文演習(1) 二重ループ
7. 演算子の優先順位	15. for 文演習(2) 多重ループ
8. 制御構文：if 文(1) 比較演算子	

**4. 到達目標**

プログラムの仕組みや、アルゴリズムの概念が理解できるようになること。

**5. 準備学修に必要な時間, またはそれに準じる程度の具体的な学修内容**

プログラムを理解するため、アルゴリズムを学習すること。

**6. 成績評価の方法・基準**

受講態度, 実習課題の成果物, 期末試験を総合して評価する。

**7. テキスト・参考文献**

テキスト：豊沢聡、「情報演習 8 ステップ 30 Java ワークブック」、カットシステム

**8. 受講上の留意事項**

演習を中心に進めるので必ず出席すること。操作や意味がわからないときには積極的に質問をすること。